

第五拾四回

老神温泉

大蛇まつり

赤城神社例祭

平成30年(2018年)

5月11日(金)

11:00 赤城神社神事
12:00 - 15:00 御神湯守の儀
15:00 - 16:30 子供みこし渡御
18:30 - 22:00 若衆みこし渡御

5月12日(土)

11:00 赤城神社神事
12:00 - 15:00 御神湯守の儀
13:00 - 15:00 子供みこし渡御
18:30 - 22:00 若衆みこし渡御



特別参加
国指定天然記念物
「岩國のしろへび」



写真提供：岩國白蛇保存会



主催：老神温泉観光協会
TEL:0278-56-3013

老神温泉と大蛇まつり

【老神温泉の歴史】

その昔、赤城山の神と日光男体山（二荒山）の神とが今の戦場ヶ原で領地争いをしました。お互いに蛇と百足（ムカデ）とに化けて激しく戦いましたが、蛇になった赤城の神は矢傷を負ってしまいました。

傷を負った赤城の神は、老神の地まで戻り、矢を抜き、地面に刺しました。すると温泉が湧いたのです。

湧き出した温泉に浸かった蛇はみるみる傷が治癒。すぐに元気を取り戻し、見事ムカデを追いやりました。

男体山（二荒山）の神を追い払ったことから、その温泉は「追い神」と呼ばれるようになりました。

それが今の老神温泉の名の由来と伝えられており、傷に効果があるとされる由縁です。

老神温泉の開祖たる蛇は、赤城の人々にとって「守り神」として信仰されており、蛇への感謝の気持ちを込めて例年「大蛇まつり」が開催されています。

【大蛇まつり】

「大蛇まつり」は、「守り神」への感謝の気持ちを込めて毎年5月の第2金曜日・第2土曜日に開催される例祭で、赤城の神たる大蛇を御輿に仕立てて温泉街を練り歩く勇壮な祭りです。

昼はかわいい子供蛇みこし、夜は大蛇をかつぐ本みこしが出て温泉街が活気にあふれます。

また、大蛇まつり開催の当日には、老神温泉をお授けになられた赤城の神様への感謝と、温泉を訪れる人々の無事故、幸せを願って、温泉街の赤城神社でご祈禱をうけた御神湯（ごしんとう）を各旅館の湯船に注ぐという儀式「御神湯守の儀（おんゆもりのぎ）」が催されます。

【赤城神社】

老神温泉の中心部、大蛇まつりの出発点でもある赤城神社は、山岳信仰を起源に赤城山の神を祀り、古来より人々の「守護神」として信仰されています。また、赤城神社の境内には薬師堂があり、湯禪薬師さまが祀られています。老神を訪れたら薬師さまを詣で、傷の治癒、美肌、病氣平癒、安産、子授け等を願いましょう。

【老神温泉の効能】

老神の泉質は、肌に優しく「美人の湯」とされるとともに「皮膚炎症」、「傷の治癒」に効くとされています。自慢の泉質に加え、御神湯を授かったお湯をゆっくり楽しみ、ますます元気に、そして美しくなりましょう。

なお、蛇は、元来金運にご利益があるとされていることも嬉しい話です。

■老神温泉の効能・・・自慢の泉質（美肌、傷の治癒）

■老神温泉の伝説・・・守護神、傷の治癒、病氣平癒、安産、子授け、金運上昇

【注目情報】大蛇まつりの当日（5月第2金曜日・第2土曜日）は、老神温泉内の各お宿とも300円でご入浴ができます！ ※一部は除きます。

御神湯守の儀(おんゆもりのぎ)縁起

神代の昔、赤城山の神と日光二荒山の神との間で争いが起こり、傷を負った赤城の神は老神のこの地まで追われて来ました。

この地で赤城の神が地面に弓をお突きになると、突然お湯がこんこんと湧き出ました。そこで河原の石を並べ湯船を造り、その湯にお入りになりますと、たちどころに傷が治ったということです。

これが追神(老神)の湯の起源であります。また、老神の湯が「赤城湯」とも言われる所以です。

大昔は赤城の神が温泉の湯を掘り当てられたとされる^{※1}五月七日及び八日は早朝より巳の刻(午前十時頃)までは湯船の周囲に七五三縄を張り廻らし、一般の人の入浴は禁止していたそうです。

この「御神湯守の儀(おんゆもりのぎ)」は老神温泉を御授けになられた赤城の神様への感謝と、老神温泉を訪れる全ての人々の無事故を願いつつ連綿と続けて参りました。さらにその儀式に加えて、各旅館で利用しております源泉を赤城神社に奉納し御祈禱を受け、その御神湯(ごしんとう)を拝戴し各旅館の湯船に注ぐという儀式です。

老神温泉のお湯が未来永劫こんこんと湧き続け、老神温泉の益々の繁栄を願い、老神温泉に関わる全ての人に幸せが訪れますよう、装いを新たに古式に倣って始められた儀式でございます。

余談になりますが、老神にはまれに瞳のない片目の蛇が来るそうです。昔の人々は「赤城さまの眷属家来」と言い、危害は決して加えてはならないと伝えられています。

赤城の神様の御神徳に依り訪れる人々がこの「老神温泉」に浴し、心身の傷を癒して、身も心も健やかにて御精勵頂ければ幸いです。

※1 平成24年度より5月の第2金曜日・土曜日に、諸般の事情により変更致しました。